

# 第72回 北九州市都市計画審議会

## (審議概要)

(1) 会議の日時・場所 平成30年5月23日(水) 10:30～  
ホテルクラウンパレス小倉 2階

(2)出席した委員および臨時委員の氏名

	氏名	役職	出欠
1	赤川 貴雄	北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科 教授	○
2	井上 龍子	八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長	○
3	内田 晃	北九州市立大学地域戦略研究所 教授	○
4	籠田 淳子	福岡県建築士会北九州地域会 副代表	×
5	白木 裕子	一般社団法人日本介護支援専門員協会 理事	○
6	神 陽子	九州国際大学法学部 准教授	○
7	寺町 賢一	九州工業大学大学院工学研究院建設社会工学研究系 准教授	○
8	中村 雄美子	NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee 代表理事	○
9	林田 法恵	北九州商工会議所女性会 副会長	○
10	原賀 美紀	産業医科大学産業保健学部 准教授	×
11	原田 美紀	原田・川原法律事務所 弁護士	○
12	大庭 喜重	北九州市西部農業委員会 副会長	○
13	福山 節子	福岡県不動産鑑定士協会北九州支部 不動産鑑定士	×
14	柳井 雅人	北九州市立大学経済学部 教授	○
15	井上 秀作	北九州市議会議員 (議長) 自由民主党	○
16	木下 幸子	北九州市議会議員 (副議長) 公明党	○
17	中島 慎一	北九州市議会議員 自由民主党	○
18	岡本 義之	北九州市議会議員 公明党	○
19	世良 俊明	北九州市議会議員 ハートフル北九州	○
20	石田 康高	北九州市議会議員 日本共産党	○
21	福原 隆	福岡県警察本部 交通部長 (代理：福岡県警本部交通部交通規制課次席 中山 隆裕)	代
22	安井 紀義	北九州市自治会総連合会 副会長	○
23	築別 悦子	北九州市女性団体連絡会議 会長	○
24	泉 優佳理	公募	○

※ ○は出席、×が欠席、代は代理出席を表す。

(3)議事の内容

別紙のとおり

## 議 題

### 付議事項

- (1) 議題第323号 北九州広域都市計画都市再開発方針の変更について(北九州市決定)
- (2) 議題第324号 北九州広域都市計画地区計画の変更について(北九州市決定)  
曾根地区【小倉南区】
- (3) 議題第325号 建築基準法第51条の規定による廃プラスチック類等の破碎施設の  
用途に供する建築物の敷地の位置について【若松区】

### 報告事項

- (4) 報告事項1 住居表示変更に伴う北九州広域都市計画地区計画の修正について
- (5) 報告事項2 土地区画整理法第55条第3項の規定により都市計画審議会に付議  
される意見書の審査手続きについて

**第 72 回北九州市都市計画審議会 議事要旨**  
(主な質問・意見と回答)

**議題第 323 号 北九州広域都市計画都市再開発方針の変更について（北九州市決定）**

○質問

1. パブコメについて、バスの乗り入れに関する意見の内容を教えてください。内容によっては、関係部署に情報共有した方がよいのではないかと。
2. 折尾地区の 2 号地区設定の考え方を教えてください。

●回答

1. 小倉駅のバスの乗り入れに関する意見が 3 件あった。意見の内容を関係部署と共有して、意見提出者に回答している。
2. 2 号地区は、立地適正化計画の都市機能誘導区域の中で土地の高度利用が期待できる容積率の指定が高い商業地域を基本に設定している。

**議題第 324 号 北九州広域都市計画地区計画の変更について（北九州市決定）**

**曾根地区【小倉南区】**

○質問

3. 進出企業に対して景観面での配慮を指導いただきたい。

●回答

3. 地区計画には、形態意匠についても記載している。景観アドバイザー制度なども活用しながら景観に配慮した建物を誘導していきたい。

**議題第 325 号 建築基準法第 51 条の規定による廃プラスチック類等の破碎施設の用途に**

**供する建築物の敷地の位置について【若松区】**

○質問・意見 なし

**報告事項 1 住居表示変更に伴う北九州広域都市計画地区計画の修正について**

○質問

4. 地元への周知はどのように考えているか。

●回答

4. 住居表示の変更について、平成 29 年 6 月議会に付議し、平成 30 年 4 月 10 日に告示している。地元への説明を行いながら、手続きを進めている。

報告事項 2 土地区画整理法第 55 条第 3 項の規定により都市計画審議会に付議される  
意見書の審査手続きについて

○質問・意見 なし